



## 栗山・継立小学校に雪山を造成 井沢建設と横山工業が奉仕活動

井沢建設株式会社が1月8日に継立小学校の裏庭、株式会社横山工業が1月15日に栗山小学校のグラウンドに雪山を造成しました。両社とも奉仕活動の一環として、重機で雪を積み上げて坂を作り、雪山の形を整えていきました。雪山は両校のスキー学習や、休み時間のそり遊びなどで活用される予定です。



## 交通安全の誓いを新たに 令和3年交通安全祈願式

令和3年交通安全祈願式が1月12日、栗山天満宮で行われました。栗山町交通安全協会が主催し、同協会を含め10団体22人が参加。新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を制限したほか、玉串奉納は行わず、祝詞が読み上げられた後に各団体の代表者のみが参拝しました。



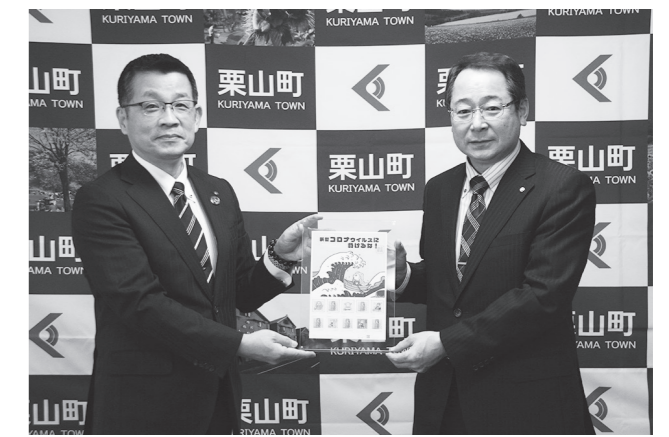
## 今年一年の無火災と安全を祈願 栗山消防団「無火災・安全等祈願」

無火災祈願、安全祈願、新型コロナウイルス感染症収束祈願が1月6日、栗山天満宮で挙行されました。栗山消防団幹部など約20人が参加。本来であれば行われる予定だった栗山消防団出初め式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。



## 疫病退散の祈りを込めて 「アマビエ」切手セットを町に寄贈

疫病退散の力を持つ妖怪「アマビエ」の切手セットが12月22日、北海道地方郵便局長会南空知地区会から町に寄贈されました。同会が新型コロナウイルス感染症の収束を願い、道内の市町村や保健所などに配布。切手には江戸時代の絵のほか、道内のデザイナーと郵便局員が描いたアマビエがデザインされています。



## 鳥にまぎれて珍客も登場 オオムラサキ館で野鳥観察会

野鳥愛好会「おっ鳥クラブ」主催の野鳥観察会が1月16日、ふるさといきものの里オオムラサキ館で行われました。事前にヒマワリの種やリンゴなどをエサ台に設置したほか、木に脂身を巻き付けてエサを用意。シジュウカラやヒヨドリなど、約10種類の鳥が姿を見せたほか、ヒマワリの種を求めてエゾリスが現れました。参加者は双眼鏡や望遠鏡を使い、熱心に観察しました。



## いきもの大好き!飼育を体験 子ども飼育員

ふるさといきものの里オオムラサキ館で1月16日、子ども飼育員の飼育体験を行いました。事前予約した2人の子ども飼育員が、館内で飼育しているサケやドジョウなどのエサやり挑戦したほか、カナヘビなどの爬虫類やクワガタなどの昆虫を観察。飼育を終えた後は、カブトムシの標本作りを体験しました。



## 今年一年の飛躍を祈願 栗山剣道連盟と少年団が鏡開き

栗山剣道連盟と栗山剣道スポーツ少年団の鏡開きが1月10日、スポーツセンター剣道場で行われました。幼児から中学生までの少年団員やOB、指導者など延べ約30人が参加。その後、同連盟の松本達也さんが直径約30センチの大きな鏡もちに気合を込めて刀を振り下ろしました。少年団の剣士たちは稽古に汗を流し、今年一年の健康や飛躍を祈願しました。



## 創意工夫を心掛けて 栗山青年会議所が所信表明式

一般社団法人栗山青年会議所の所信表明式が1月8日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。毎年開催している新年交礼会に代えて実施。第53代理事長に就任した西岡政則理事長があいさつしたほか、新規会員の入会承認式が行われ、会員は今年のスローガンである「創意工夫～築きあげよう地域の輝き～」のもと、それぞれが担当する分野での活躍を誓いました。

